知道会報
CHIDO-KAIHO

93

編　集　知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人　鬼澤邦夫
発行日　平成30年10月１日
通　巻　第93号
メール　chidokai_mito@chidokai.jp
Ｈ　Ｐ　www.chidokai.jp

目 次　【座談会】140周年を迎えて　1
140周年記念祝賀会　4
一高だより　4
学年・地域等同窓会　6

【座談会】
140周年を迎えて――過去と現在、そして未来へ

水戸一高と知道会のこれまで、そしてこれから。
培ってきた最も大切なものとは何か。
大井川和彦茨城県知事を交え、さまざまな世代から語ります。

出席者（写真左より、敬称略）
水戸一高現役生徒：
鈴木健拓（たけひろ）　野球部主将（31組）
笠倉真衣　生徒会長（39組）
知道会：
大井川和彦　知事（昭58卒）
鬼澤邦夫　会長（昭38卒）
鈴木一弘　校長（昭52卒）
進行：
宮内寿子　広報副委員長（昭47卒）

2018年７月31日　水戸一高にて

水戸一高のいま

―笠倉さんは生徒会長、鈴木くんは、野球部主将という役割を担ってきましたが、２年半という時間を水戸一高で過ごしてきた２人が感じる、水戸一高とはどんな空間ですか？

笠倉　生徒一人一人の能力がとても高く、誰もが何かしら自分よりも優れているところがあり、常に尊敬できる存在であると感じます。何をしていても一生懸命やっていればバカにされない。むしろみんな応援してくれるところがいいところだと思います。たとえば、ほかの高校だと、朝勉強をしていると、そんなことしてるの？などと反応がかえってくるかと思いますけど、水戸一にいると、むしろ勉強していない方が恥ずかしいですよね。いい環境だと思います。

鈴木　一人一人の向上心がかなり高いな、と思います。ひとつのことをがんばるのは他の高校でもできると思うんですけど、部活や学苑祭やクラスマッチ、委員会など、あらゆる分野に手を出していて、その上、どのことも一所懸命、誇りを持ってやっているというのがすごいと感じています。

大井川　自分の頃はバンカラな雰囲気がまだ残っていたので、女性の生徒会長というと、少し隔世の感がありますね。

校長　現在、女性は約４割４分ですが、存在感は５割以上です。

大井川　ぼくらの時は２割ちょっとくらいでしょうか。

鬼澤　私の時は１ケタ。

校長　私の頃は全校400人に対して60人くらいでした。（高校生２人に）今は女性の生徒会長は全く不思議じゃないよね。応援団にも女性はいますし、かつては女性の団長もいました。

大井川　え！そうなんですか。

※次ページに続く

創立140周年記念祝賀会は11月17日（土）ホテルレイクビュー水戸で開催します

応援団いまむかし

大井川　あの恐怖の応援団にも女性ですか。

笠倉　質問なんですが、応援団が怖かったってどういうことですか？

大井川　えぇ、ぼくが入学して一番ショックだったのは、１年の最初の昼休みに、いきなり応援団の人が教室にやってきて、無理矢理弁当しまわされて。それで、無理矢理屋上に連れて行かれて無理矢理応援の練習をさせられるんですよ。それからみんな、２時間目の昼休みに早弁してっていう文化になっちゃうじゃないですか。そしたらお昼過ぎにおなかすいてきちゃったりして。

（うなづくOBたち）

笠倉・鈴木　へー（意外そう）

笠倉　今は、応援歌がわからないだろう、と応援団の子たちが、自主制作で「こんにちは！ぼくは応援団おにいさん！今から歌を教えるよ！」という動画を各クラスに送ってくれるんです。

OB一同　えー！

校長　動画送ってるんだ。知らなかった。

大井川　いや、それがまともなんじゃないですか。今の姿があるべき姿だと思いますよ！

多様性を認め合う気風

校長　今の生徒は、全体に、まじめでおとなしくはなっています。バンカラさは残しつつ、スマートになっていると感じますね。

大井川　先程笠倉さんがおっしゃっていたように、色々なことの価値を認める雰囲気があるのはすばらしいと思います。単なる勉強至上主義ではないし、色々なことに価値を見いだし、そこでがんばっ

ている、あるいは突き抜けている人間を尊重する雰囲気がある。当時の思春期の人間形成にすごくためになったと思います。ぼく自身は、柔道部を１年の夏休みでやめて、それからはもう勉強部なんです。徹底して勉強部。夏休みも土日も含めて朝から晩まで勉強していました。そこまで徹底してしまうと、別に文句言う奴も冷やかす奴もいないし、いじめられるということも一切ない。逆に、屋上で、ここでは言えないようなことをしていても（笑）誰も何も言わない。むちゃくちゃやるような人間も一緒に学苑祭もやるし、歩く会でもみんなで楽しめる。生き方の多様性を認めてくれる、そこが非常によかったなと今も思います。

変わらない反骨の魂

大井川　教師を盲信するという気風はないですよね。逆に教師を評価してやる、くらいの生意気な雰囲気があり、結構がんがん意見をぶつける人や質問をする人がいておもしろかったですね。

―先生をやりこめるような生徒が逆に尊敬されたりしますね。

大井川　ぼく、唯一自慢があって。政経の授業で、憲法の三原則である、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重の３つは並列ではなく、最初の２つは、基本的人権を守るための手段であるから、基本的人権の尊重が上位概念ではないか、と質問したんです。当時の先生は、学習指導要領にでもあるのかな、「自分はそうは思わない、でも理由はよくわからない。」とそこで抑えられてしまったんです。でも、大学の法学部に行ったら、憲法の教科書に、ちゃんと基本的人権が上位概念だと書いてあるんですよ。やはり自分は正しかった、と思いまして、これは自慢ですね。

笠倉　すごく水戸一っぽいです！

校長　今の生徒は、表面上はきちんと真面目に授業を聞いています。最初は教員も、自分の授業はこれでいいと思ってしまうのですが、やがてそうではないとわかってくる。

大井川　礼儀正しいんですね？逆に先生も大変ですね。

笠倉　反骨精神のようなものは、根づいていると思います。

校長　私も全校集会で生徒から質問されたことがあります。

豊富な人材と繋がりこそが財産

大井川　社会に出ると、ディベートが重要になりますよね、コミュニケーション力というか。

校長　本校でも今、力を入れているところです。特に英語でのディベートはかなりレベルが高いです。

大井川　自分の時代より水戸一高は進化していると思います。水戸は伝統を重視するあまり変わらないという雰囲気があるかなと思いますが、伝統を大切にするのはもちろん、時代の変化に合わせ自分自身も変わっていかなければならない、水戸一高は両方兼ね備えていると、とてもうれしく思いました。茨城県をリードする、いろいろな意味でのトップの高校になってほしいと思います。

笠倉　私は医学部を目指しているので、茨城県で県立高校に医学コースを新設するというのを聞き、実は、後輩をうらやましく思っています。

大井川　ぜひ、医師になって茨城に戻ってきてください。

鈴木　ぼくは、地方創生を将来の仕事にしたいと考えていて、観光を学び、得意な美術を生かして茨城のまちおこしをやりたいと思っているんです。

大井川　それはすばらしい！鈴木くんも、県庁にきてください。新しい力を待っています。

校長　知道会から寄付していただいた電子黒板は大変有意義に活用させていただいていますし、医学コースについては、全国に応援団になってくれる卒業生がいます。

鬼澤　成功者には「運が良かった」という人がいますが、それは実は、緻密な論理の上に成り立っていて、その運を積み上げる際、信頼できる人とつながり、大切に育てることが人生でもっとも重要なこと。水戸一高という土壌で培われた個性あふれる卒業生がいる、そのことがかけがえのない知道会の財産であると思います。

―140周年という節目を迎えて、卒業生、在校生に高校生活を忌憚なく語って頂けたと思います。水戸一高の持つ自由な気風が、一人ひとりの能力の多彩さを互いに認め合うという寛容の精神に支えられていることを改めて確認できました。鬼澤会長がおっしゃられたように、知道会の未来は、それぞれの分野で活躍している方たちの力を、縦横に活かしていくことにあると思います。今日は、お忙しい中をありがとうございました。

母校創立140周年記念事業中間報告

○募金額4,400万円超

記念事業の募金は、３千万円を目標として平成28年12月に活動を開始しました。以降、会報発行にあわせて３回、寄付金払込取扱票を同封して寄付を呼び掛けてきました。お陰様で大口の寄付等もあり、今年８月末で2,854件4,400万円を超え、目標金額を達成することが出来ました。

一人で何度も寄付して下さった方、自分の小遣いから寄付して下さった若年層の方、さらに地域知道会からの寄付や、学年同窓会では出席者から寄付を集めるなどしていただきました。本当にありがとうございました。

○各教室に電子黒板を設置（1,200万円）

記念事業により学校に寄贈した電子黒板は合計30台。これにより全ての普通教室をはじめ特別教室などにも設置することができ、今年４月から使用されています（一部は今後設置予定）。

「成績アップに大いに役立っている」と、生徒、先生に好評です。

電子黒板を活用した授業

創立140周年記念祝賀会

～三森千愛さん（H13卒）登場ほか企画も多数～

水戸一高創立140周年を記念して祝賀会を開催いたします。現在、幹事学年である昭62卒、平９卒、平19卒を中心に準備が進められております。開催概要は以下の通りです。

日時　11月17日（土）
　　14：00～16：15
場所　ホテルレイクビュー水戸
　　（水戸市宮町1-6-1）
日程　13：15　受付開始
　　14：00　開会
　　15：00　アトラクション
　　「ミス・サイゴン」などミュージカルで活躍している三森千愛さん（平13卒）にご登場いただきます。彼女の表現豊かな歌唱を存分にお楽しみ下さい。
　　15：30　スライドショー
　　水戸一高の「昔」と「今」をまとめました。かつての学生時代の思い出と、そこから繋がっている現在の水戸一高の姿をご覧になりながらご歓談下さい。
　　16：10　校歌斉唱～閉会

会場はホテルレイクビュー水戸の２階フロアすべてを使い、会場内にはフォトスポット（薬医門＆歩く会ゴール）も設置します。学生時代に戻った気分で記念写真を撮ってみてはいかがでしょうか。

また、会場では限定「水高饅頭」を販売します。今も毎年学苑祭で販売されている「水高饅頭」、実は昭和62年卒が３年生の時の学苑祭で販売したのが始まりです。６個入300円、無くなり次第販売終了ですのでぜひ早めにお買い求め下さい。

参加申し込みは同封の郵便振替用紙にて会費（5,000円）をお振込み下さい。

なお、今年も若い会員の皆さんに知道会の雰囲気を知っていただくため、卒業６年目（今年は平成25年３月卒業）以下の会員の参加費を無料としますので該当卒年の参加希望の方は知道会事務局へメールで参加の旨をご連絡下さい。さらに、子育て中の会員にも安心して祝賀会・同窓会に参加していただけるよう別室にて専門業者による託児サービスを当日13：30～20：00の間無料で提供いたします。託児サービス申込方法など詳しくは知道会ホームページをご覧下さい。

11月17日、祝賀会会場でお待ちしております！

三森千愛（みつもり　ちあき）

水戸市出身、茨城大学教育学部附属小・中学校、水戸一高卒業。日本大学芸術学部、舞台芸術学院、ニューヨークへの短期留学などを経て劇団四季へ入団。『ライオンキング』に女性シンガーソロ役で出演。退団後は新演出版『レ・ミゼラブル』にファクトリーガール役、宿屋の女房役で出演。2014年と2016～17年には新演出版『ミス・サイゴン』にエレン役、2018年には日本初演『メリー・ポピンズ』にバンクス夫人役で出演。その他数多くのミュージカル・舞台に出演している。2014年にはネパールにて日本大使館後援『ネパール・日本フレンドシップチャリティ コンサート』に出演。2019年にも海外ミュージカル作品への出演を控えている。

第67期第40回代議員会

第67期（平成29年10月～平成30年９月）第40回代議員会が平成30年５月19日（土）14時から知道会館にて開催されました。審議等概要は以下の通りです。

⑴　第67期中間事業報告ならびに学年・地域・職域知道会の活動状況が栗原幹事長から報告されました。
⑵　第67期中間収支について関田財務委員長から、監査結果の報告が篠原監事からされ、承認されました。
⑶　創立140周年記念事業について、収支及び進捗状況が栗原幹事長から説明され、電子黒板の追加設置、体育館トレーニングマシン更新の事業追加が承認されました。
⑷　水戸一高震災義援金の残金を今期末にて一般会計に繰り入れることが承認されました。
⑸　年会費収入が年々減少している現状に鑑み、今後の会費制度を検討するプロジェクトチームを設置することが承認されました。
⑹　今期末の役員改選にあたり、指名委員会を７月に開催することが報告されました。
⑺　代議員会終了後、海外派遣生徒による報告会と、設置した電子黒板の実演説明が行われました。

このページでは、この夏、全国レベル以上で活躍した個人・団体の紹介をします。

クイズ研究同好会 パネルクイズ アタック25出場

鹿内涼（21）が、９月２日にテレビ朝日で放映された「パネルクイズアタック25高校生大会（本選）」に出場し、他校の実力者と堂々と戦い見事優勝を果たした。さらに、トップ賞として「プレミアムクルーズライン：プリンセスクルーズで巡る地中海クルーズ・ペア11日間の旅」への挑戦権を獲得し、このクイズにも正答して、海外旅行を手にした。

番組での様子

ライオンスペシャル 第38回全国高等学校クイズ選手権（高校生クイズ2018）出場

三輪華英（21）、岩本百葉（24）、吉岡晋作（27）の３名からなる水戸一高チームが高校生クイズの予選会の決勝において惜しくも茨城県代表は逃したものの、予選会１次試験の成績が全国10位という好成績であったため「特別枠」での全国大会出場を果たし、９月14日に日本テレビでその果敢に戦う姿が放映された。尚、予選会の決勝は各県の１次試験成績上位３チームで行われたが、水戸一高の１年生チームも予選１次試験県内２位でこの決勝に残っている。

番組での決勝の様子

アマチュア無線部 全国大会入賞

７月28日から30日に新潟県阿賀野市で行われた第15回全国高等学校ARDF競技大会に９名の選手が参加した。競技が行われた２日間ともに、台風が通過した直後のフェーン現象による高い気温の中での実施となった。リタイアする選手も出る中、Sprint競技女子の部で内田賜恵（25）が個人３位に入賞し、団体としても山口涼花（23）、渡邉洋平（21）とともに５位に入賞した。144MHzClassic競技では団体入賞は逃したものの女子の部で個人７位に内田賜恵が入賞した。

また、７月16日に行われた全国高校アマチュア無線コンテストでも、21MHzマルチオペレーション部門で奨励賞を得た。

美術部 第42回全国高校総文祭 美術工芸部門　出場

８月７日から11日に長野県上田市

にて開催された、第42回全国高等学校総合文化祭美術工芸部門に、黒沢美紀（24）の作品「空想を描く」（油絵Ｓ50号）が茨城県代表として出品された。11日におこなわれた講評会では、全国400作品の中から25点を秀作として紹介されたが、本生徒の作品もその一つとして挙げられ、好評を得ていた。また講評会後の出品生徒交流会でもギャラリートークの展開の中で注目を集めていた。全国レベルの作品に触れることができ、また高いレベルで生徒交流できたことは、今後の大きな自信と財産になるであろう。

交流会の様子

生物同好会部
第42回全国高校総文祭出場

８月７日から９日にかけ、長野県茅野市において、第42回全国高等学校総合文化祭（自然科学部門）が開催された。口頭発表（生物部門）の茨城県代表として、生物同好会部の宮部真美（35）と丸岡紗英（36）が「硫酸イオンによるpH非依存的リゾチーム活性の阻害」の題で発表した。発表では審査員とディスカッションを楽しんでいた。また、全国レベルの他校生の発表を聴講し勉強になったようであった。巡検研修では、公立諏訪東京理科大学の研究室の見学と、八ヶ岳総合博物館の見学をさせていただき、生徒は質問を積極的にしながら学術研究の先端に触れ楽しんでいた。生徒たちは普段は狭い空間での研究をしているが、今回の全国の発表会・交流によって、幅広い知見を得られただろう。

宮部（左）丸岡（右）

発表の様子

放送部
NHK全国高校放送コンテスト出場

放送部は、７月23日から26日にかけて、東京の国立オリンピック記念青少年総合センター、NHKホールで開催された、第65回NHK杯全国高校放送コンテストに出場した。山部友梨子（36）が創作ラジオドラマ部門に、千葉樹子（24）が朗読部門に出場した。創作ラジオドラマ部門は各校が作成したラジオドラマの発表を行う。また、朗読部門は課題図書から２分以内の箇所を抽出して発表を行う。目標としていた準決勝には進めなかったが、これまでの成果を十分に発揮することができた。来年度は準決勝に進出できるよう日々の活動に励みたい。

棋道部（囲碁）
第42回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会出場

７月23日（月）から７月25日（水）の３日間、東京都千代田区の日本棋院で行われた「第42回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会」に、本校棋道部の渡部仁（11）が個人の部で茨城県代表として出場した。全勝で県予選を通過した渡部であったが、全国の壁は厚く、惜しくも１次リーグで敗退となった。

渡部は中学生時にも全国大会を経験しており、五段の棋力をもつ。他の部員とともに今後の活躍が大いに期待される。

県予選の様子　左端の生徒が渡部

学校創立140周年記念試合
「水戸一vs作新学院」のご案内（硬式野球部）

学校創立140周年記念事業の一環として、現役硬式野球部による記念試合を下記の通り開催いたします。

(1) 日　時　　平成30年11月18日（日）
　　９：30～　　開会式
　　10：30～　　記念試合（始球式は大井川和彦茨城県知事）
　　記念試合終了後　閉会式
(2) 会　場　　ノーブルホームスタジアム水戸（水戸市民球場）
(3) 相手校　　作新学院高等学校（栃木県）
(4) 主　催　　水戸第一高等学校・知道会・水府倶楽部
　　（硬式野球部OB会：和知忠伸幹事長〈昭44卒〉）
(5) その他　　入場無料

全国高等学校野球選手権大会が100回目を迎えた節目の年に、同じ北関東の伝統校である作新学院高との試合を通じて、母校140年の歩み、硬式野球部の歴史や現在の活動などについて、広く知っていただく機会となれば幸いと考えております。会員の皆様におかれては、ぜひ当日、球場に足をお運びください。

水府倶楽部　幹事　船橋信正（昭63卒）

EVENTS

平成30年
４月
　９日　水戸一高入学式
　14日　母校創立140周年記念事業実行委員会（第４回）
　　第67期第２回幹事会
　15日　みつば知道会総会
　25日　広報委員会
　　母校創立140周年記念祝賀会第２回実行委員会
５月
　19日　第67期第40回代議員会
　23日　母校創立140周年記念祝賀会第３回実行委員会
　26日　水戸下市知道会総会
６月
　２日　水戸桜山知道会総会
　　常陽知道会総会
　18日　県庁知道会総会
　28日　第39回知道会ゴルフ大会
　　大洗ゴルフ倶楽部
　23～24日　第70回学苑祭
　24日　常陸太田知道会総会
　27日　財務委員会
　　母校創立140周年記念祝賀会第４回実行委員会
　30日　城里知道会総会
７月
　７日　茨城町知道会総会
　　土浦水中一高会例会
　　水戸一高昭和45年卒業生同窓会
　８日　友部知道会総会
　　岩間知道会総会
　13日　広報委員会
　20日　鹿行知道会例会
　　創立140周年記念版知道会会員名簿発行
　21日　知道会指名委員会
　　東京知道会との交流会
　28日　笠間知道会総会
　　総務委員会　暑気払い
　31日　知道会　知事、校長、生徒、会長の座談会
　　（創立140周年を迎えて）
８月
　22日　茨城県産業会館知道会総会
　25日　新荘知道会総会
　26日　水戸南部知道会総会
　29日　母校創立140周年記念祝賀会第５回実行委員会
９月
　１日　行餘學会（湊・水中一高会）総会
　　那珂知道会総会
　９日　第３回　知道会BBQ大会
　19日　母校創立140周年記念祝賀会第６回実行委員会
10月
　13～14日　第70回歩く会　筑波コース
11月
　17日　母校創立140周年記念式典及び祝賀会

学年・地域等知道会

みつば知道会

みつば知道会は、水戸市立双葉台小・上中妻小学区内に居住する知道会員の集まりです。知道会や水戸知道会と連携を図りながら、総会の他年３回の懇親会、年２回のゴルフコンペ、水戸ホーリーホック応援観戦など、多くの事業を行っています。

４月15日に双葉台地区センターで総会を開催。知道会幹事長・栗原英則様、水戸一高校長・鈴木一弘様はじめ、桜山・五軒知道会からも来賓を迎えて、35名が集まりました。北條勝彦氏（昭32卒）が会長を勇退し、古平恒夫氏（昭37卒）が新会長に承認されました。

総会後の講演会では、茨城大学名誉教授・田切美智雄氏（昭38卒・双葉台在住）が、「日本列島の地学の話」という演題で講演。地球の大陸は今でも動いているということが印象に残りました。

懇親会には、藤田幸久参議院議員はじめ下市・新荘知道会からも参加があり、26名が後援会講師の田切先生を囲んで、楽しく交流を図りました。

幹事長・坂場安男（昭46卒）

常陽知道会

６月２日（土）18時より、水戸三の丸ホテルで、常陽知道会総会・懇親会が開催されました。

常陽知道会は、常陽銀行の現役行員およびOB・OG等の知道会員で構成され、年１回総会・懇親会を開催しています。会員数は、６名の新入行員を迎え入れ、総勢358名となっております。

今年度は、鈴木校長先生および栗原知道会幹事長に来賓としてお越しいただき、会員64名が参加し、盛大に行われました。鈴木校長先生からは、母校の活動や近況などについて、栗原幹事長からは、母校知道会による140周年行事の活動などについて、ご挨拶いただきました。知道会への創立140周年事業資金100万円の贈呈の会計報告等を経て、総会を締めくくり、その後の懇親会では、大いに盛り上がり、校歌斉唱・エールで締めくくりました。

また、常陽銀行OBで、母校知道会会長も務めた西野虎之介氏が、このたび常陽知道会の名誉会長職をご勇退されることになり、花束贈呈等を執り行いました。

熊倉　俊男（平11卒）

昭和45年卒学年同窓会

２年に一度開催している学年同窓会を７月７日（土）、水戸京成百貨店９階パーティールームにて大久保清先生、松廣義先生、知道会本部から深谷新太郎副幹事長、総勢80名の出席で、しかも今年は同級生バンド「粋好会（酔好会）」の“おっさんバンドらいぶ”でにぎにぎしく開催することができました。

毎回、物故者の皆さん（今年は26名）に黙祷し、代表幹事挨拶、恩師挨拶、知道会代表挨拶があり、出席者も欠席者の分も近況報告の小冊子で互いの元気な様子や、そうでなかったり、年相応の確認をしあい、あっという間に３時間の楽しいタイムスリップを味わいました。

次回はまた２年後、卒業50周年の学年同窓会で合流することを確認しあい、校歌斉唱で閉めた次第です。

尚、母校創立140周年記念事業寄付金として、先に振り込みをされている皆さんも重複しながら、計74,760円をお預かりし知道会本部に届けさせてもらいました。御協力ありがとうございました。

代表幹事（36組）皆川眞規夫

城里知道会総会

平成30年６月30日（土）、コミュニティセンター城里において、「城里知道会」総会（34名出席）を開催しました。

当日は、知道会の栗原幹事長、那珂知道会から小笠原会長、萩野谷事務局長、笠間知道会の畑岡書記、と近隣の知道会の皆様のご臨席を賜り、ご挨拶の中で各知道会の活動状況等をお話しいただき、会員一同とても貴重な情報に接することができました。

総会では、山崎洋一会長の後任として三村亮一新会長が選出されました。

また、今回の講演会は、黒澤典彦副会長の「知られていない薬剤師の仕事」と題し、いわゆる麻薬Ｇメンとしての貴重な体験談をお話しいただき、リアルな麻薬捜査の現場を垣間見ることができました。

懇親会は、会場を「千歳」に移し、今年の「歩く会」大休止会場が常北中学校となることから、母校の支援についての話などで大いに盛り上がりました。

時間はあっという間に過ぎて、この日のために練習を重ねた応援団の飯島正史君（平10卒）の音頭で校歌を斉唱し、総会・懇親会はお開きとなりました。

幹事長　綿引静男（昭49卒）

友部知道会

７月８日（日）午後５時より、友部駅前の割烹「須藤」で、友部知道会の平成30年度総会・懇親会が33名

参加のもと開催されました。

総会には、本部の栗原幹事長、笠間、岩間各知道会役員にご臨席をいただきました。

議事に入り、今年は結成10周年の節目の大事な年でもあり、鶴田会長(昭39卒)に再任していただくこと、又、今年度も名所・旧跡を歩くミニ歩く会を実施することとしました。

恒例の講演会は、当会の柴山副会長（昭42卒）から「タイにおけるマングローブの植林」という環境保全ボランティア活動について報告をいただきました。昨今の温暖化の問題もあり、皆熱心に聞き入りました。

その後、全員で記念撮影後懇親会となりました。藤田参議院議員も参加されて盛会に行われ、最後に皆で高らかに校歌を歌い閉会しました。

旧友部町在住のOB・OGの皆様、名所・旧跡を歩くミニ歩く会などに一緒に参加しませんか。会員を募集しています。

長谷川良亮（昭45卒）

笠間知道会

７月28日（土）、台風の近づく悪天候の中、笠間市・いなみ旅館吉光庵にて、来賓に青木睦人水戸一高教頭、栗原英則知道会幹事長、城里・友部各知道会会長、桜川知道会副会長、（岩間知道会は悪天候のため欠席）、藤田幸久衆議院議員、近藤慶一笠間市副市長をお迎えし、笠間知道会総会・講演会が開催されました。平成30年度より、石本誠会長(昭33卒）が顧問に勇退し、新会長に、市村博之現副会長(昭40卒)が就任、平成29年度事業報告と本年度の予定の報告の後、講演会では、現役時代には落研に所属、現在も研鑽を積んでいる麹家こうじこと太田耕一氏（昭44卒）による見事な落語で大笑い。「浮世床」などを披露していただきました。その後の懇親会では参加者が親交を深め、なごやかな中で散会となりました。

磯美保（昭60卒）

行餘学会平成30年総会開催

９月１日（土）、阿字ヶ浦クラブで、知道会幹事長栗原英則（昭48卒）さんにもご出席頂き、行餘学会総会が開かれました。今回の講演者は、茨城新聞代表取締役社長の小田部卓（昭49卒）さんでした。「地方創生と地方紙の役割」というテーマで、一時間に亘ってお話し頂き、その後の質問も活発に出されました。

茨城新聞は創刊127年を迎えます。2011年の東日本大震災のときには、全電源喪失。それでも休まずに発行・配達を続けた経験の中で、地方新聞の原点を体験したというお話、皆さん当時を思い出しながら聴きいっていました。現在、紙媒体が苦戦する中、契約部数は微増しています。

その後の懇親会は飛び入り参加の方も含め、35名の方が集って盛り上がりました。また、今期で大平征二（昭37卒）会長が退任されること、新会長に乾守男（昭48卒）幹事長が着任することが公表されました。新体制によるさらなる発展を祈念して、会は終幕しました。

宮内寿子（昭47卒）

遠峯 健氏（昭７卒）の絵画寄贈

東京・御茶ノ水の「山の上ホテル」の社員で画家としても活動していた遠峯氏。ホテルのロゴ文字やパンフレットなどの絵も氏の手によるものです。

遠峯氏の絵画（偕楽園）は本校学習館２階にもありますが、このほど遠峯氏の御息女の坂井由美子様から絵画１点（シベリア抑留）の寄付の申し出があり、知道会で受領しました。今後、校内に展示していきます。

書籍紹介

邑から日本を見る
先﨑千尋の「常陽新聞」全記録

先﨑千尋（昭36卒）著
STEP／2000円

40年以上にわたり著者が常陽新聞に書いた200本を超える記事を収録。農業問題をはじめ、まちづくりや政治など幅広いテーマに鋭く切り込み、問題をえぐるコラム集。

三島由紀夫かく語りき

篠原裕（昭41卒）編著
展転社
1800円＋税

ニーチェの代表作を思い出させる表題である。著者の篠原氏は元「楯の会」一期生。現在は「しきしま会」の事務局長を務める。会の理念は日本の歴史・文化・伝統の継承である。本書は三島由紀夫の言説を読み解くことで、自らの足場を確認することを目指している。

エンジニアが学ぶ物流システムの「知識」と「技術」

石川和幸（昭59卒）著
翔泳社
2800円＋税

物流とは何か？から始まり、倉庫管理システムや輸配送管理システムの役割解説まで、初めて物流に関わる方にも基本が理解しやすい内容となっている。また、物流システム導入を可能にするための項目を盛り込んであり、エンジニアにとっても大変参考となる。最終章では、ＩｏＴ技術やドローン活用といった新しい潮流にも触れている。

委員会

総務委員会

7月21日（土）15時から、ホテルレイクビュー水戸にて知道会と東京知道会のメンバーによる交流会を開催しました。猛暑の中、第３回目の開催となった今回は、双方の幹事長、各委員長など21名が出席、全員で11月に開催される創立140周年記念祝賀会の会場を下見した後、情報交換を行いました。組織構成について、あるいは各委員会の抱える課題などについて約１時間半にわたって話し合い、その後水戸駅南口の飲食店へ移動しての賑やかな懇親会と合わせて、実務者同士が相互の理解を深め協力関係を強める良い機会となりました。この交流会は年１回、水戸・東京の相互開催で今後も継続します。

親睦委員会

親睦委員会では、毎年開催されている知道会ゴルフ大会の第39回大会を、６月28日大洗ゴルフ倶楽部において執り行いました。

素晴らしいお天気に恵まれ、47名の方のご参加を頂きました。シニアの部優勝は岩間洋一さん（昭44卒）、一般の部は礒崎雄司さん（平元卒）でした。クリスタル製の素晴らしいトロフィーが授与されました。

また、９月９日には第３回知道会BBQ大会を阿字ヶ浦クラブで開催いたしました。大人14名、子供６名（乳幼児含む）の参加を頂き、BBQはもとより、ビンゴゲーム、海辺での遊びなど、楽しく半日を過ごしました。

来年は、更なる皆さまのご参加をお待ちいたします。

親睦委員長　星野幸子

財務委員会

年会費の納入は、口座振替が便利です！

財務委員会では、銀行等預金口座振替による年会費納入を推進しております。

知道会の目的は「会員相互の親睦」と「母校発展の助成」となっており、皆様にお届けしている「知道会報」は、会員相互の親睦のために、皆様の年会費で製作・発送しております。また、皆様の年会費は、母校への助成事業として各種大会参加への援助や、生徒海外派遣の助成、卒業記念品費などに拠出されており、母校の発展と将来ある在校生たちの応援に結びついています。

母校のさらなる発展は、われわれ同窓生にとっても、誇りとなるものです。

趣旨ご理解いただき、ぜひとも年会費の納入にご協力をお願いします。

口座振替での年会費納入をご希望の方には、事務局より振替依頼書を送付しておりますのでご連絡ください。

名簿委員会

会員の皆様のおかげで創立140周年記念版の会員名簿を発行することができましたことに加え、多くの会員の皆様にご購入や広告の協賛をいただきましたことに改めて心より感謝申し上げます。

名簿委員会委員一同次回の発行に向け、更に努力を重ねて参りますので、今後ともご指導とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

現在の名簿発行にあたっての課題は、掲載情報の正確性の確保は当然のこととして、個人情報保護や名簿掲載情報の不正利用の防止という要請と、名簿の有用性を高めるという要請とをどのように調和させていくかということにあります。次回の発行までの間にこれらの課題につき委員会として研究と議論とを重ねていきたいと思っていますので、あわせてご指導とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

名簿委員長　水口二良

物　故　者（H30.3 ～ H30.9 迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。）

旧職員　飯島　恒	昭23中　本間　誠二	昭28高　梅澤　孝二	昭35高　渡辺　秀茂
旧職員　池井　芳寛	昭23中　武内　俊彦	昭28高　鈴木　皓允	昭35高　羽鳥清四郎
昭６中　石川　信雄	昭24高　本間　誠二	昭28高　後藤　弘道	昭36高　会沢　通利
昭８中　沼田　吉嗣	昭25高　和田　治雄	昭28高　緑川　忠康	昭36高　秋山　宏
昭12中　石川(小野瀬)通	昭26高　川上　晃司	昭29高　小貫　熙彦	昭37高　石井　良樹
昭13中　宮崎　巍	昭26高　田中　昭	昭29高　長島　静雄	昭37高　川崎　嶺夫
昭14中　境　治男	昭26高　小川　恒久	昭29高　森田　美雄	昭39高　綿森　溥
昭15中　小堤　弘	昭26高　住谷　永夫	昭29高　雨谷　正巳	昭39高　佐竹　紀男
昭18中　稲葉　由郎	昭26高　萩野谷　宏	昭30高　大木　昌	昭40高　山野　隆夫
昭18中　古田土(久野)清	昭26高　小澤　淳	昭30高　鈴木　民也	昭40高　木村　尚文
昭19中　桜井　弘	昭26高　渡辺　隆夫	昭30高　広田　晄秀	昭41高　平澤　正英
昭19中　鈴木　重定	昭26高　柳田　哲男	昭30高　山田　弘	昭41高　浦辺　真吉
昭19中　鈴木　武文	昭26高　久保庭　淳	昭30高　黒沢　昭和	昭42高　箱崎　英男
昭19中　沼田　一夫	昭26高　篠原　時男	昭30高　鳥井　千壽	昭42高　安嶋　彰良
昭20中⑤小泉　元	昭27高　原　寛二	昭31高　横須賀公之	昭44高　仲田　富雄
昭20中⑤西山　成	昭27高　大津　秀雄	昭31高　江口　静治	昭44高　西成田　滋
昭20中⑤村澤　裕啓	昭27高　桑野　隆雄	昭31高　菊池　信也	昭46高　佐藤　政雄
昭20中④栗山　功	昭27高　西川　勝也	昭32高　田口　忠彦	昭48高　菊池　健
昭20中④黒沢　義	昭27高　加藤　正保	昭32高　吉岡　正男	昭51高　高塩　靖
昭20中④長嶺　定夫	昭27高　眞﨑　健造	昭32高　野口　敏也	昭52高　大部　隆明
昭20中④根本剛太郎	昭27高　金澤　俊和	昭33高　池田　基次	昭54高　大塚　和成
昭20中④細谷登喜夫	昭27高　田崎　常雄	昭34高　樫村　憲一	昭56高　岡部　忠久
昭22中　谷田部一夫	昭27高　谷本　剛	昭34高　三村　清	
昭23中　大木　茂	昭27高　武石　勝男	昭35高　若林　達夫	

【事務局から】

今年の歩く会は10月13、14日。第70回で、筑波コースです。よく続いていると感心しています。交通事情が年々厳しくなっており、事故等がなく成功を祈っています。事務局の運営日は月水金（祭日を除く）の午前10時から午後３時までです。都合により不在もありますのでFAX 029-226-4157　メール E-mail chidokai_mito@chidokai.jpでのご連絡にご協力をお願い致します。

学校基本データ

学校創立	1878年（明治11年）10月2日
平成30年	創立140年
同窓会員数	38,458名（平成30年９月現在）
住所判明者	21,733名（平成30年９月現在）
在籍生徒数	972名（男子546名　女子426名）

（平成30年４月現在）